

前号に引き続き、介護現場で多く行われている口腔ケアのひとつである入れ歯ケアについて、入れ歯清掃の注意点の特集です。



## 入れ歯清掃の注意点

### ■熱湯消毒(煮沸滅菌)は厳禁

一般的に入れ歯は熱に弱い材質で作られていて、その耐熱温度は50度強といわれています。そのため煮沸滅菌や仕上げに熱湯をかけるなどすると、入れ歯が変形する場合があります。臭いや菌の除去には義歯洗浄剤と義歯ブラシを用いましょう。また、義歯洗浄剤をお湯に溶かして使用すると汚れが良く落ちることが知られていますが、この場合の湯温は指が入れられる程度の温度(お風呂の温度)にしましょう。



### ■義歯洗浄剤以外は使用しない

食器洗い用の漂白剤を希釈して使用しているケースを見かけますが、入れ歯の材料に悪影響がある場合がありますので、使用は避けましょう。洗浄には義歯洗浄剤を使用し、また複数の義歯洗浄剤を混ぜて使用するのは避けましょう。もちろん、複数のご利用者の義歯を一緒に洗浄するなどは厳禁です。



エラック義歯洗浄剤

### ■義歯安定剤を使用の場合

義歯と口腔粘膜に残った古い安定剤は必ず完全に除去してください、酢酸ビニルを主原料とした安定剤なら、ぬるま湯にしばらく浸けて置くと入れ歯に付いた安定剤が剥がしやすくなります。

安定剤の選択基準として、安定剤が除去しやすいものを選ぶのも良いでしょう。



義歯安定剤 新ファストン  
水で簡単に洗い落とせます

### ■義歯洗浄剤を使用しましょう

前号でもご案内したように、入れ歯の清掃にはブラッシングだけではなく、義歯洗浄剤も使用しましょう。義歯洗浄剤は細菌を効果的に除去し、ブラッシングでは落としづらい部分の汚れも除去できる優れたものです。特に誤嚥性肺炎の既往のあるご利用者等には、毎日の義歯洗浄剤の使用をお奨めします。

義歯洗浄剤に入れ歯を浸ける前にブラッシングして表面の汚れを落としておくと、義歯洗浄剤の洗浄力をより効率よく引き出すことができます。

義歯洗浄剤を使わず、ブラッシングのみで入れ歯のケアをする場合は、より丁寧なブラッシングが必要となります。



エラック義歯ブラシ  
らくらくスタイル

